



2021年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

2020年10月30日

上場会社名 アルプスアルパイン株式会社

上場取引所 東

コード番号 6770 URL <https://www.alpsalpine.com/j/ir/index.html>

代表者 (役職名) 代表取締役 社長執行役員 CEO (氏名) 栗山年弘

問合せ先責任者 (役職名) 代表取締役 副社長執行役員

統合シナジー担当 兼 管理担当 兼 (氏名) 米谷信彦

TEL 03-5499-8026

アルパインブランド担当 兼 管理本部長

四半期報告書提出予定日 2020年11月10日

配当支払開始予定日

2020年11月30日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (アナリスト・機関投資家向け電話会議)

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第2四半期の連結業績(2020年4月1日～2020年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属する四半期純利益 | |
|---------------|---------|------|--------|------|--------|------|------------------|------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 2021年3月期第2四半期 | 320,789 | 25.1 | 3,502 | | 3,954 | | 8,992 | |
| 2020年3月期第2四半期 | 428,141 | 1.1 | 21,415 | 29.0 | 15,875 | 45.2 | 5,936 | 65.9 |

(注) 包括利益 2021年3月期第2四半期 1,668百万円 (%) 2020年3月期第2四半期 5,986百万円 (%)

| | 1株当たり四半期純利益 | 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益 |
|---------------|-------------|--------------------|
| | 円 銭 | 円 銭 |
| 2021年3月期第2四半期 | 43.98 | |
| 2020年3月期第2四半期 | 28.80 | 28.78 |

(注) 2020年3月期末において、企業結合に係る暫定的な会計処理の確定を行っており、2020年3月期第2四半期連結累計期間に係る各数値については、暫定的な会計処理の確定の内容を反映させています。

(2) 連結財政状態

| | 総資産 | 純資産 | 自己資本比率 | 1株当たり純資産 |
|---------------|---------|---------|--------|----------|
| | 百万円 | 百万円 | % | 円 銭 |
| 2021年3月期第2四半期 | 646,777 | 351,603 | 49.5 | 1,565.43 |
| 2020年3月期 | 625,542 | 355,615 | 51.9 | 1,587.06 |

(参考) 自己資本 2021年3月期第2四半期 320,171百万円 2020年3月期 324,464百万円

2. 配当の状況

| | 年間配当金 | | | | |
|--------------|--------|--------|--------|-------|-------|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 合計 |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 |
| 2020年3月期 | | 20.00 | | 10.00 | 30.00 |
| 2021年3月期 | | 10.00 | | | |
| 2021年3月期(予想) | | | | 10.00 | 20.00 |

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日～2021年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属する当期純利益 | | 1株当たり当期純利益 |
|----|---------|------|--------|------|--------|------|-----------------|---|------------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 |
| 通期 | 702,500 | 13.3 | 13,000 | 51.5 | 10,500 | 43.7 | 3,000 | | 14.67 |

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

| | | | | |
|-------------------|------------|---------------|------------|---------------|
| 期末発行済株式数(自己株式を含む) | 2021年3月期2Q | 219,281,450 株 | 2020年3月期 | 219,281,450 株 |
| 期末自己株式数 | 2021年3月期2Q | 14,755,243 株 | 2020年3月期 | 14,837,907 株 |
| 期中平均株式数(四半期累計) | 2021年3月期2Q | 204,479,376 株 | 2020年3月期2Q | 206,167,969 株 |

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.4「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(四半期決算補足説明資料の入手方法について)

2020年10月30日(金)に当社ホームページに掲載します。

○添付資料の目次

| | |
|---------------------------------|----|
| 1. 当四半期決算に関する定性的情報 | 2 |
| (1) 経営成績に関する説明 | 2 |
| (2) 財政状態に関する説明 | 3 |
| (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 | 4 |
| 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 | 5 |
| (1) 四半期連結貸借対照表 | 5 |
| (2) 四半期連結損益及び包括利益計算書 | 7 |
| 第2四半期連結累計期間 | 7 |
| (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 | 8 |
| (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 | 9 |
| (継続企業の前提に関する注記) | 9 |
| (株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) | 9 |
| (セグメント情報等) | 9 |
| 3. 補足情報 | 11 |
| 電子部品セグメントの販売実績内訳 | 11 |

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における世界経済は、米国では新型コロナウイルスの流行が継続する中、経済対策等の効果が表れ消費は回復傾向となりました。欧州でも景気の回復傾向が見られましたが、新型コロナウイルスの感染再拡大の影響によって軟調傾向となりました。中国では2020年3月からの経済活動の再開や中国政府の経済対策等により、景気の回復傾向が持続しました。日本においては緊急事態宣言により落ち込んだ個人消費が政府の支援策等によって徐々に上向き、また、製造業を中心に輸出も持ち直し傾向となりました。しかし、未だに設備投資は低調で、新型コロナウイルスの感染再拡大の懸念もあることから、回復は緩やかなものとなりました。

当第2四半期連結累計期間における経営成績の概況については、以下のとおりです。なお、下記に示す売上高は外部顧客に対する売上高であり、報告セグメント間売上高（例：電子部品事業から車載情報機器事業向けの売上（製品の供給）や、物流事業における電子部品事業及び車載情報機器事業向けの売上（物流サービスの提供））は、内部取引売上高として消去しています。また、2019年6月27日に行われたFAITAL S.p.A.、FAITAL U.S.A.、INC.、Magyarországi Hangszórógyártó Kft.、2019年7月1日に行われたZHAOPU ELECTRONICS (SHANGHAI) INC. との企業結合に係る暫定的な会計処理は前連結会計年度末に確定したため、前四半期連結累計期間との比較・分析に当たっては、暫定的な会計処理の確定による見直し後の金額を用いています。

セグメントの状況

<電子部品事業>

エレクトロニクス業界においては、自動車市場でCASE（Connected, Autonomous, Shared & Services、Electric）への開発が引き続き活発な中、世界の新車販売台数が新型コロナウイルス流行の影響による落ち込みから急速な回復を見せたものの、前年同期比で減少となりました。スマートフォン市場でも、主に新型コロナウイルスの影響により世界販売台数は前年同期比で減少しました。EHII（Energy, Healthcare, Industry, IoT）各市場では、IoT（Internet of Things）による新たなサービス等の具体的な提案やAI（人工知能）やロボティクスを活用した新たなビジネスへの展開が進んでいます。しかし、新型コロナウイルス流行による影響は大きく、各市場は総じて低調に推移しました。

この中で、電子部品事業の車載市場において、新車販売台数の減少による市況停滞の影響が大きく、各種製品が全般にわたり低調となりました。民生その他市場においても、スマートフォン向け各種製品が出荷台数減少による影響を大きく受けました。これらの結果、当事業の売上高及び営業利益ともに前年同期比で減少しました。

[車載市場]

電子部品事業における車載市場では、CASE時代の次世代プラットフォームへの顧客ニーズに対応し、次世代センシング技術をはじめとした開発を進めました。また海外自動車メーカーより卓越した付加価値の創造やイノベーションの導入等を評価され、表彰を受けました。

当第2四半期連結累計期間における当市場の売上高は、世界的に自動車市場が減速した影響を受け、全般的に各種製品が低調に推移し、881億円（前年同期比30.0%減）となりました。

[民生その他市場]

電子部品事業における民生その他市場では、新型コロナウイルス流行の影響によって需要が増加した人工呼吸器向け操作デバイスの増産体制整備、衛生面に配慮したタッチレス操作パネルの提案、また環境センサビジネスの拡大に向けてSensirion Holding AG（スイス）と戦略的パートナーシップの締結等を行いました。

当第2四半期連結累計期間における当市場の売上高は、スマートフォンの販売台数の減少による影響を受け、スマートフォン向けカメラ用アクチュエータ等の各種製品が全般にわたり低調に推移し、826億円（前年同期比21.1%減）となりました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間における電子部品事業の売上高は1,707億円（前年同期比25.9%減）、営業損失は13億円（前年同期における営業利益は131億円）となりました。

<車載情報機器事業>

CASEやADAS（先進運転支援システム）の進展により、IT・通信等の業種・業態の垣根を超えた企業間の開発競争が激化しました。このように自動車産業を巡る環境が大きく変化している中、新型コロナウイルス流行の影響により、新車販売台数は前年同期比で減少となり低調に推移しました。

この中で、車載情報機器事業では、電子部品事業とのシナジー効果による「デジタルキャビン」向け製品の開発の加速、ブロックチェーン技術を活用したカーシェアリング向けデジタルキーの開発、自動運転に5Gのプラットフォームを活用するための開発や、コネクテッドカーの車両情報管理のMaaS（Mobility as a Service）ビジネス

の強化等を図りました。この他、自動車業界に卓越したオーディオシステムを提供することを目的に、マッキントッシュグループと提携しました。

当第2四半期連結累計期間における業績は、自動車の販売台数減少の影響が大きく、前年同期比で売上高及び営業利益ともに減少しました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間における車載情報機器事業の売上高は1,123億円（前年同期比28.8%減）、営業損失は39億円（前年同期における営業利益は57億円）となりました。

<物流事業>

物流事業の主要顧客である電子部品業界において、新型コロナウイルス流行の影響により自動車向けやスマートフォン製品の生産が減少しました。一方で、消費物流は外出自粛や在宅勤務等により宅配ビジネスが好調に推移しました。

このような需要動向のもと、物流事業（(株)アルプス物流・東証第二部）では、新型コロナウイルス流行の影響で貨物取扱量の需要が減少しました。このような環境の中で、生産性向上の取り組みの一環として、日本では新たに大型の自動化設備を導入した倉庫を稼働しました。海外においては、拠点・ネットワークの拡充を継続するとともに、中国では8月に通関業の専門子会社を設立し、通関業務の迅速化による輸出入事業拡大に向けた体制強化を図りました。

当第2四半期連結累計期間における業績は、貨物取扱量の減少に対応すべく生産性向上によるコスト削減に取り組み、電子部品の荷動きが一部地域では回復傾向となりましたが、全体としては減少したことから、減収減益となりました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間における物流事業の売上高は324億円（前年同期比2.9%減）、営業利益は14億円（前年同期比29.5%減）となりました。

以上により、上記の3事業セグメントにその他を加えた当第2四半期連結累計期間における当社グループの連結業績は、売上高3,207億円（前年同期比25.1%減）、営業損失35億円（前年同期における営業利益は214億円）、経常損失39億円（前年同期における経常利益は158億円）、親会社株主に帰属する四半期純損失89億円（前年同期における親会社株主に帰属する四半期純利益は59億円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末における総資産は前連結会計年度末と比べ212億円増加の6,467億円、自己資本は42億円減少の3,201億円となり、自己資本比率は49.5%となりました。

流動資産は、受取手形及び売掛金の増加等により、前連結会計年度末と比べ151億円増加の3,842億円となりました。

固定資産は、投資有価証券、機械装置及び運搬具の増加と、建設仮勘定の減少等により、前連結会計年度末と比べ61億円増加の2,624億円となりました。

流動負債は、支払手形及び買掛金の増加と、未払費用の減少等により、前連結会計年度末と比べ72億円増加の2,053億円となりました。

固定負債は、長期借入金の増加等により、前連結会計年度末と比べ179億円増加の898億円となりました。

②キャッシュ・フローの状況

現金及び現金同等物（以下、「資金」という。）は、前連結会計年度末と比べ7億円増加し、当第2四半期連結会計期間末の残高は、1,289億円となりました。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期連結累計期間における営業活動による資金の増加は、79億円（前年同期は409億円の増加）となりました。この増加は、主に減価償却費203億円及びたな卸資産の減少額86億円による資金の増加と、売上債権の増加額138億円、税金等調整前四半期純損失46億円、法人税等の支払額35億円による資金の減少によるものです。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期連結累計期間における投資活動による資金の減少は、210億円（前年同期は280億円の減少）となりました。この減少は、主に有形及び無形固定資産の取得による支出217億円による資金の減少によるものです。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期連結累計期間における財務活動による資金の増加は、135億円（前年同期は99億円の減少）となりました。この増加は、主に短期借入金の増加額187億円による資金の増加と、配当金の支払額20億円による資金の減少によるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

依然として、世界的に新型コロナウイルス流行の収束は見えず、今後の世界経済も一進一退が続いていくものと予想されます。エレクトロニクス業界や自動車業界においても、自動車、スマートフォン市場ともに、新型コロナウイルス流行以前の水準に回復する見込みは立たず、足元の動向も厳しさが続くことと認識しています。

このように大変厳しい事業環境の中で、当社グループでは、経営構造改革及び明日につながる新製品開発、新事業の拡大に努めています。今後も引き続き、経営統合によるシナジー創出の加速、企業体質の強化や生産性の向上を進めるなど、海外現地法人を含めた「一つのアルプスアルパイン」の動きを加速させていきます。更に、グローバルネットワークの拡充により一層の事業拡大を目指す物流事業を含め、これまで以上にグループ一丸となった事業運営を推進し、企業価値の向上を図っていきます。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

| | 前連結会計年度 (2020年3月31日) | 当第2四半期連結会計期間 (2020年9月30日) |
|------------------|-------------------------|------------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 129,598 | 130,182 |
| 受取手形及び売掛金 | 119,604 | 136,116 |
| 商品及び製品 | 63,061 | 53,994 |
| 仕掛品 | 11,344 | 12,501 |
| 原材料及び貯蔵品 | 26,067 | 25,841 |
| その他 | 19,763 | 25,921 |
| 貸倒引当金 | △252 | △264 |
| 流動資産合計 | 369,187 | 384,292 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | | |
| 建物及び構築物 | 152,279 | 152,429 |
| 減価償却累計額及び減損損失累計額 | △100,575 | △101,598 |
| 建物及び構築物（純額） | 51,704 | 50,830 |
| 機械装置及び運搬具 | 249,808 | 262,572 |
| 減価償却累計額及び減損損失累計額 | △191,444 | △199,471 |
| 機械装置及び運搬具（純額） | 58,364 | 63,101 |
| 工具器具備品及び金型 | 142,118 | 144,290 |
| 減価償却累計額及び減損損失累計額 | △120,095 | △122,911 |
| 工具器具備品及び金型（純額） | 22,022 | 21,378 |
| 土地 | 30,404 | 30,240 |
| 建設仮勘定 | 15,368 | 12,927 |
| 有形固定資産合計 | 177,865 | 178,479 |
| 無形固定資産 | 28,259 | 28,708 |
| 投資その他の資産 | | |
| 投資有価証券 | 30,985 | 37,548 |
| 繰延税金資産 | 6,960 | 5,975 |
| 退職給付に係る資産 | 12 | - |
| その他 | 12,798 | 12,319 |
| 貸倒引当金 | △527 | △546 |
| 投資その他の資産合計 | 50,230 | 55,297 |
| 固定資産合計 | 256,354 | 262,484 |
| 資産合計 | 625,542 | 646,777 |

(単位：百万円)

| | 前連結会計年度 (2020年3月31日) | 当第2四半期連結会計期間 (2020年9月30日) |
|---------------|-------------------------|------------------------------|
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 支払手形及び買掛金 | 61,781 | 72,014 |
| 短期借入金 | 56,198 | 56,323 |
| 未払費用 | 16,190 | 15,031 |
| 未払法人税等 | 4,096 | 3,379 |
| 賞与引当金 | 10,120 | 10,394 |
| 製品保証引当金 | 9,798 | 9,912 |
| その他の引当金 | 539 | 430 |
| その他 | 39,314 | 37,835 |
| 流動負債合計 | 198,038 | 205,321 |
| 固定負債 | | |
| 長期借入金 | 43,672 | 60,575 |
| 繰延税金負債 | 2,333 | 3,771 |
| 退職給付に係る負債 | 18,828 | 18,495 |
| 役員退職慰労引当金 | 168 | 134 |
| 環境対策費用引当金 | 590 | 590 |
| その他 | 6,293 | 6,285 |
| 固定負債合計 | 71,887 | 89,852 |
| 負債合計 | 269,926 | 295,174 |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 38,730 | 38,730 |
| 資本剰余金 | 126,544 | 126,524 |
| 利益剰余金 | 206,491 | 195,455 |
| 自己株式 | △32,233 | △32,052 |
| 株主資本合計 | 339,533 | 328,656 |
| その他の包括利益累計額 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 13,435 | 17,518 |
| 土地再評価差額金 | △496 | △496 |
| 為替換算調整勘定 | △18,214 | △16,466 |
| 退職給付に係る調整累計額 | △9,792 | △9,039 |
| その他の包括利益累計額合計 | △15,068 | △8,485 |
| 新株予約権 | 278 | 210 |
| 非支配株主持分 | 30,872 | 31,220 |
| 純資産合計 | 355,615 | 351,603 |
| 負債純資産合計 | 625,542 | 646,777 |

(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

| | 前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日) | 当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日) |
|---------------------------------------|---|---|
| 売上高 | 428,141 | 320,789 |
| 売上原価 | 350,787 | 275,194 |
| 売上総利益 | 77,354 | 45,594 |
| 販売費及び一般管理費 | 55,938 | 49,097 |
| 営業利益又は営業損失(△) | 21,415 | △3,502 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息 | 427 | 253 |
| 受取配当金 | 268 | 183 |
| 受取保険金 | 49 | 577 |
| 補助金収入 | 339 | 591 |
| 雑収入 | 279 | 517 |
| 営業外収益合計 | 1,364 | 2,123 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 727 | 392 |
| 為替差損 | 2,713 | 966 |
| 持分法による投資損失 | 2,115 | - |
| 雑支出 | 1,347 | 1,216 |
| 営業外費用合計 | 6,904 | 2,575 |
| 経常利益又は経常損失(△) | 15,875 | △3,954 |
| 特別利益 | | |
| 固定資産売却益 | 44 | 203 |
| 持分変動利益 | 167 | - |
| 段階取得に係る差益 | - | 108 |
| その他 | 58 | - |
| 特別利益合計 | 271 | 312 |
| 特別損失 | | |
| 固定資産売却除却損 | 101 | 485 |
| 組織構造改革費用 | - | 386 |
| その他 | 420 | 163 |
| 特別損失合計 | 521 | 1,035 |
| 税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△) | 15,625 | △4,677 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 7,095 | 2,899 |
| 法人税等調整額 | 1,695 | 734 |
| 法人税等合計 | 8,791 | 3,633 |
| 四半期純利益又は四半期純損失(△) | 6,834 | △8,311 |
| (内訳) | | |
| 親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△) | 5,936 | △8,992 |
| 非支配株主に帰属する四半期純利益 | 897 | 680 |
| その他の包括利益 | | |
| その他有価証券評価差額金 | △762 | 4,085 |
| 繰延ヘッジ損益 | 0 | - |
| 為替換算調整勘定 | △12,081 | 1,795 |
| 退職給付に係る調整額 | 228 | 761 |
| 持分法適用会社に対する持分相当額 | △206 | - |
| その他の包括利益合計 | △12,820 | 6,643 |
| 四半期包括利益 | △5,986 | △1,668 |
| (内訳) | | |
| 親会社株主に係る四半期包括利益 | △6,332 | △2,408 |
| 非支配株主に係る四半期包括利益 | 346 | 740 |

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

| | 前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日) | 当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日) |
|-----------------------------------|---|---|
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△) | 15,625 | △4,677 |
| 減価償却費 | 23,700 | 20,377 |
| 売上債権の増減額(△は増加) | △14,108 | △13,833 |
| たな卸資産の増減額(△は増加) | △3,461 | 8,678 |
| 仕入債務の増減額(△は減少) | 14,736 | 8,021 |
| 未払費用の増減額(△は減少) | △387 | △1,479 |
| その他 | 7,885 | △5,580 |
| 小計 | 43,991 | 11,505 |
| 利息及び配当金の受取額 | 612 | 416 |
| 利息の支払額 | △720 | △399 |
| 法人税等の支払額 | △2,963 | △3,540 |
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | 40,919 | 7,982 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 定期預金の預入による支出 | △1,011 | △1,025 |
| 定期預金の払戻による収入 | 2,902 | 1,220 |
| 有形固定資産の取得による支出 | △19,206 | △18,099 |
| 無形固定資産の取得による支出 | △4,426 | △3,605 |
| 連結の範囲の変更を伴う子会社持分の取得による支出 | △3,561 | - |
| その他 | △2,697 | 454 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | △28,000 | △21,056 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 短期借入金の純増減額(△は減少) | 12,564 | 18,741 |
| 長期借入れによる収入 | 1,000 | 17,417 |
| 長期借入金の返済による支出 | △4,127 | △19,423 |
| 配当金の支払額 | △5,275 | △2,044 |
| 自己株式取得目的の金銭の信託の設定による支出 | △981 | - |
| その他 | △13,143 | △1,179 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | △9,963 | 13,510 |
| 現金及び現金同等物に係る換算差額 | △4,269 | 339 |
| 現金及び現金同等物の増減額(△は減少) | △1,313 | 777 |
| 現金及び現金同等物の期首残高 | 118,318 | 128,217 |
| 連結子会社の決算期変更に伴う現金及び現金同等物の増減額(△は減少) | 778 | - |
| 現金及び現金同等物の四半期末残高 | 117,783 | 128,994 |

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自2019年4月1日至2019年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

| | 報告セグメント | | | | その他 (注)1 | 合計 | 調整額 (注)2 | 四半期連結 財務諸表 計上額 (注)3 |
|-----------------------|------------|--------------|--------|---------|-------------|---------|-------------|------------------------------|
| | 電子部品 事業 | 車載情報 機器事業 | 物流事業 | 計 | | | | |
| 売上高 | | | | | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 230,651 | 157,659 | 33,477 | 421,788 | 6,353 | 428,141 | — | 428,141 |
| セグメント間の内部売上高 又は振替高 | 6,458 | 3,765 | 17,750 | 27,974 | 6,653 | 34,627 | △34,627 | — |
| 計 | 237,110 | 161,425 | 51,227 | 449,763 | 13,006 | 462,769 | △34,627 | 428,141 |
| セグメント利益 | 13,188 | 5,779 | 2,062 | 21,030 | 680 | 21,710 | △295 | 21,415 |

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、システムの開発、オフィスサービス、金融・リース事業等を含んでいます。
2. セグメント利益の調整額△295百万円は、セグメント間取引消去です。
3. セグメント利益は、四半期連結財務諸表の営業利益と調整を行っています。
4. 前第2四半期連結累計期間のセグメント情報は、企業結合に係る暫定的な会計処理の確定による取得原価の当初配分額の見直しが反映された後の金額により開示しています。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

金額の重要性が低いため、記載を省略しています。

3. 地域ごとの情報

売上高

(単位:百万円)

| 中国 | 日本 | アメリカ | ドイツ | その他 | 計 |
|--------|--------|--------|--------|---------|---------|
| 85,418 | 78,696 | 69,593 | 44,591 | 149,842 | 428,141 |

(注) 売上高は顧客の所在地を基礎とし、国又は地域に分類しています。

II 当第2四半期連結累計期間（自 2020年4月1日 至 2020年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

| | 報告セグメント | | | | その他 (注) 1 | 合計 | 調整額 (注) 2 | 四半期連結 財務諸表 計上額 (注) 3 |
|-----------------------|------------|--------------|--------|---------|--------------|---------|--------------|-------------------------------|
| | 電子部品 事業 | 車載情報 機器事業 | 物流事業 | 計 | | | | |
| 売上高 | | | | | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 170,797 | 112,327 | 32,494 | 315,618 | 5,170 | 320,789 | — | 320,789 |
| セグメント間の内部売上高 又は振替高 | 4,075 | 3,100 | 12,270 | 19,446 | 5,181 | 24,628 | △24,628 | — |
| 計 | 174,872 | 115,427 | 44,765 | 335,065 | 10,352 | 345,417 | △24,628 | 320,789 |
| セグメント利益又は損失 (△) | △1,387 | △3,926 | 1,455 | △3,859 | 404 | △3,454 | △48 | △3,502 |

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、システムの開発、オフィスサービス、金融・リース事業等を含んでいます。

2. セグメント利益又は損失 (△) の調整額△48百万円は、セグメント間取引消去です。

3. セグメント利益又は損失 (△) は、四半期連結財務諸表の営業損失 (△) と調整を行っています。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

金額的重要性が低いため、記載を省略しています。

3. 地域ごとの情報

売上高

(単位：百万円)

| 中国 | 日本 | アメリカ | ドイツ | その他 | 計 |
|--------|--------|--------|--------|---------|---------|
| 79,212 | 60,792 | 46,086 | 25,726 | 108,972 | 320,789 |

(注) 売上高は顧客の所在地を基礎とし、国又は地域に分類しています。

3. 補足情報

電子部品セグメントの販売実績内訳

電子部品セグメントの販売実績内訳は、次のとおりです。

| | 前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日) | | 当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日) | | 対前年同四半期比 | |
|---------|---|-------------|---|-------------|--------------|------------|
| | 売上高 (百万円) | 構成比率 (%) | 売上高 (百万円) | 構成比率 (%) | 増減額 (百万円) | 増減率 (%) |
| 電子部品事業 | 230,651 | 53.9 | 170,797 | 53.2 | △59,853 | △25.9 |
| 車載市場 | 125,935 | 29.4 | 88,131 | 27.5 | △37,804 | △30.0 |
| 民生その他市場 | 104,715 | 24.5 | 82,665 | 25.7 | △22,049 | △21.1 |

(注) 構成比率は連結売上高に対する比率です。